

洪水時に特化した低コストな水位計(現地見学会案内図)

(別紙1)

日時：平成29年9月7日(木) 14:00~16:00(予定)

場所：鶴見川水系鳥山川 (神奈川県横浜市港北区鳥山町地先)

【現地見学会 概略行程】

14:00 集合

関東地方整備局 京浜河川事務所
新横浜出張所 1F会議室

14:00~

現場実証の概要説明

14:30~15:00

<移動(徒歩)>

15:00~16:00

現地見学会(鶴見川水系鳥山川)

16:00

現地解散

- 現地集合後の移動は全て徒歩での移動となります。
- ご来場の際は、公共交通機関をご利用いただくよう、ご協力下さい。



- ※小机駅から新横浜出張所まで徒歩8分程度
- ※新横浜出張所から現場まで徒歩20分程度
- ※関東地方整備局 京浜河川事務所 新横浜出張所
〒222-0036 神奈川県横浜市港北区小机町2081
TEL : 045-476-5003

洪水時に特化した低コストな水位計(現場実証フィールド)

(別紙2)

位置図



水位計設置箇所



※周辺の住環境への配慮のため、
現場見学会以外の時間帯における
現地への立ち入りはご遠慮ください。

洪水時に特化した低コストな水位計(概要)

(別紙3)

【目的】

洪水時のみの水位観測に特化した低コストな水位計を開発し、**都道府県や市町村が管理する中小河川等への普及を促進し、水位観測網の充実を図る。**

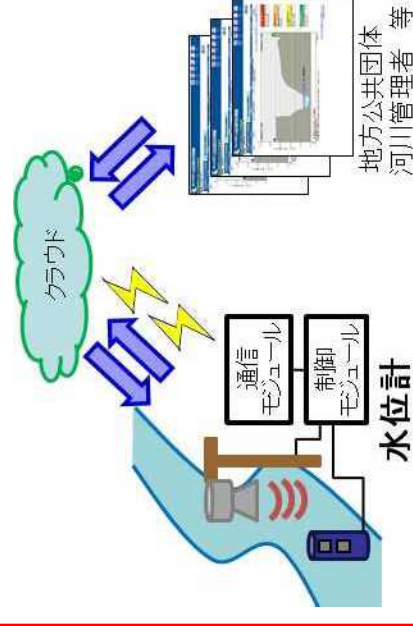
【特徴】

- **長期間メンテナンスフリー** (無給電で5年以上稼働)
- **省スペース(小型化)** (橋梁等へ容易に設置が可能)
- **初期コストの低減**
(洪水時のみの水位観測により、機器の小型化や電池及び通信機器等の技術開発によるコスト低減)
(機器設置費用は、**100万円/台以下**)
- **維持管理コストの低減**
(洪水時のみに特化した水位観測によりデータ量を低減し、IoT技術とあわせ**通信コストを縮減**)

【現状及び今後の予定】

- 開発12チーム(21者)により機器開発中
- **平成29年8月から、開発した水位計を鶴見川水系烏山川(横浜市内)に順次設置し、試験的に水位観測を開始**
- 計測の確実性や計測データの精度等を検証
- **平成29年内に機器開発を完了の後、機器特性をとりまとめ公表**
- **平成30年より、順次現場へ設置予定**

洪水時に特化した低コストな水位計



(別紙4)

革新的河川管理プロジェクト(第一弾)
クラウド型・メンテナンスフリー水位計(洪水時に特化した低コストな水位計)

開発チーム一覧

	チーム構成企業等
①	国立研究開発法人 情報通信研究機構
	(株)クリアリンクテクノロジー
	(株)アラソフトウェア
	パシフィックコンサルタンツ(株)
②	(一財) 河川情報センター
	応用地質(株)
③	(株)東建エンジニアリング
	(株)東京建設コンサルタント
④	日本工営(株) (単独)
⑤	日油技研工業(株) (単独)
⑥	坂田電機(株)
	応用地質(株)
	(株)NTTドコモ
⑦	日本アンテナ(株) (単独)
⑧	日本無線(株)
	(株)イートラスト
⑨	(株)日立製作所
	(株)オサシ・テクノス
⑩	富士通(株)
	(株)ソニック
⑪	富士通(株)
	沖電気工業(株)
	(一財) 河川情報センター
⑫	NECネットエスアイ(株) (単独)